

# 白老町家庭教育支援チーム「ぴんぽーん」



## 「ぴんぽーん」とは？

北海道の白老（しらおい）町にある家庭教育支援チーム「ぴんぽーん」は、平成 21 年の結成以来、子育て中の保護者の悩みやストレスをできるだけ軽減できるよう、さまざまな支援活動を行ってきました。

特に、「訪問型の相談活動」は、元教員や子育て経験者である支援員が事前に行った聞き取りやアンケート調査をもとに、相談を希望する方に寄り添うスタイルで実施し、保護者の子育ての悩みやストレスを軽減させる上で大きな効果を出しています。



## チームメンバー

○チームリーダー 中谷 通恵（コーディネーター）

○チームの特徴

保育園、認定こども園、小学校、地域子育て拠点、ファミリーサポートセンター等の各関係機関と連携をしながら、訪問相談や講師派遣等の各種活動を行っています。

## 取組1 「訪問型の相談活動」

○不安や悩みを抱え、子育てに役立つ情報を知りたい保護者に対し、支援員が直接家庭を訪問して相談や支援を行っています。一人でも多くの方が利用しやすいように、コーディネーターが専用の携帯電話を持ち、電話やメールを活用しながら訪問希望者を募っています。

○相談を受けるに当たっては、利用者が相談場所を選定する、支援員を指名することができるなど、利用者に寄り添うことができるよう工夫しています。傾聴を心掛け、保護者がエンパワーメントできる時間になるようにしています。

○希望者を募る方法としては、以下の2つの取組に特徴があります。

- ・乳幼児健診時に全保護者を対象とした「訪問希望の有無」などについての聞き取り調査を行っています。
- ・2年に一度、保育園、認定こども園、小学校からの協力を得て、全保護者を対象とした「訪問希望の有無」などについてのアンケート調査を実施しています。



## 訪問型の相談活動～どんな効果が出ているの？～

- ・毎年の訪問件数は、約 50～60 件。
- ・子どもが乳幼児の頃に利用した保護者が、子どもの成長に伴い、再度相談を希望するなど、継続的な支援に結びつけることができます。
- ・家庭教育の重要性を繰り返し伝えることで、保護者の意識が高まり、研修会に父親や祖父母を誘って参加する母親が増えてきました。
- ・町外への転出後も、相談活動を希望する保護者がいます。



## 取組2 「講師の派遣」「子育て講座の実施」

- 小学校の「就学予定者知能検査」や中学校の「一日体験入学説明会」を活用して、家庭教育講話を町内の小・中学校で実施しています。
- 研修会、PTA活動、授業の外部講師として、講師派遣を行っています。
- 年に2回、支援チームが主催する「子育て講座」は、保護者にとって貴重な学びの場になっています。



## 取組3 「支援チーム会議の開催」

- 各種情報を関係者で共有するため、支援チーム会議を月1回開催し、チーム員の活動報告及び情報共有を行い、より良い子育て支援へとつなげています。
- 家庭教育支援チーム支援員や家庭教育支援者の資質向上を目的とした研修会を実施しています。



## 取組4 「家庭教育支援だよりの発行」

- 年間5回程度、家庭教育支援だより「ぴんぼーん」を発行しています。
- 保護者から寄せられた質問に対して支援員が回答する「子育てに関するワンポイントアドバイス」等のコーナーを設けて、保護者が抱える子育ての悩みや不安を解消する情報提供となるよう心掛けています。



## 「今後の展望」や「メンバーの願い」

今後も子育てに悩みを抱える保護者が気軽に利用できるよう、保護者の気持ちに寄り添いながら、訪問相談及び情報提供を行い、学習機会については、より多くの方に参加してもらえるような内容及び周知方法等を検討していきたいと考えています。

子育てについての悩みや不安はあるけれど時間がない方など、必要な支援や情報を届けることができない保護者へのアプローチの仕方を考え、身近な存在として地域の子育てを支えていきたいと思えます。

【連絡先】白老町健康福祉課子育て支援室（北海道白老郡白老町東町4丁目6番7号）

# 子育て情報や相談員をあなたの家まで届けます！